

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	防災・防犯対策の充実	政策(項)番号	VII
施策名(目)	防災力の充実	施策(目)番号	①
担当課	総務課(関係課 保健福祉課)	担当課長	佐々木 秀之

1. 施策の基本方針

施策目的	・安全で安心して暮らせるまちづくりのため、現在組織されている常備消防及び非常備消防(消防団)等を基本として、住民の防災意識や災害に対する備えを充実させ、災害が発生した場合に対応できる能力(防災力)を高めることを目的とする。
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項) ・火災の発生しにくい住環境を確保する。 ・火災や、災害が起きても、被害を最小限とする計画や組織がある。 ・実を守るため身近に相談する人や助けあう組織がある。	施策を取り巻く環境(社会環境、国・県の動向等) ・国・県では、市町村に水害ハザードマップを作成しこれを、住民に周知するよう法で義務付けている。また、土砂警戒システムを導入し、災害の危険度に関する情報を市町村が住民に周知し避難指示等の基礎情報とすることとしている。また、地域防災力向上を図るため「自主防災組織」の組織化を推進している。
-------	---	---

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)	達成度(上段:目標 下段:実績)					H27目標	備考(他団体状況含む)
			H23	H24	H25	H26	H27		
主要	災害による死者数(人口1万人当り)	目標	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
		実績	0人	0人	0人	0人	0人		
		達成率	—	—	—	—	—		
参考①	出火率(人口1万人当り)	目標	—	—	8件	4件	4件	4件	火災発生件数/人口1万人当り 仙南平均 4.9 件
		実績	6件	4件	8件	—	—		
		達成率	—	—	100%	—	—		
参考②	避難施設耐震化率	目標	—	—	100%	100%	100%	100%	
		実績	100%	100%	100%	—	—		
		達成率	—	—	100%	—	—		
参考③	自主防災組織組織率	目標	—	—	100%	100%	100%	100%	自主防災参加数/人口 全国平均 77.9 %
		実績	73%	76%	79%	—	—		
		達成率	—	—	79%	—	—		
参考④		目標	—	—	—	—	—		
		実績	—	—	—	—	—		
		達成率	—	—	—	—	—		

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		558,484千円	60,165千円	88,750千円	77,192千円	103,241千円	87,218千円
財源内訳	国庫支出金	28千円	25千円	5,275千円	4,953千円	18千円	18千円
	県支出金	11,250千円	千円	1,875千円	千円	1,875千円	1,875千円
	地方債	1,500千円	千円	4,500千円	4,500千円	4,800千円	4,800千円
	(うち過疎債)	千円	千円	600千円	600千円	600千円	600千円
	その他特定財源	468,500千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	77,206千円	60,140千円	77,100千円	67,739千円	96,548千円	80,525千円
従事者数	正職員	2.95人/年	3.08人/年	3.15人/年	3.09人/年	2.96人/年	2.96人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	19,864千円	21,005千円	21,386千円	20,978千円	20,097千円	20,097千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		2,556千円	2,880千円	2,863千円	2,808千円	2,692千円	2,692千円
トータルコスト		580,904千円	84,050千円	112,999千円	100,978千円	126,030千円	110,007千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・婦人防火クラブや消防団等の地域組織の活動により、予防消防が徹底され、火災の発生が少ない状況にある。自主防災組織が徐々に組織され、防災力が向上してきている。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・自助意識が浸透してきており、自主防災組織の組織化が進んでいる。消防団や防火クラブとの連携により今後一層の防災力強化が見込まれる。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]			・火災以外に防災全体においても町民の安全安心を確保するため、当該事業推進は不可欠で、貢献度は非常に高い。

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の組織化が地域によって偏りがあるため、組織率の低い地域での重点的な推進が必要である。 ・少子高齢化やライフスタイルの変化等により、消防団員の減少が懸念される。 ・排水ポンプ機場の付属施設である吐出槽の外壁(コンクリート)が劣化している箇所もあり補修工事が必要である。 ・近年、地球温暖化の影響で各地で集中豪雨が発生しており、その対策が急務となっている。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様に、消防団の訓練、消防施設の整備等を計画的に進める。 ・自主防災組織の全地区組織化に向けて、住民に対し積極的な働きかけを行うとともに、組織化された団体へ支援を行う。 ・住民への情報提供を継続して実施する。 ・今後の防災に備え、消防団へ対する装備を拡充していく。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。

必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。